

市民マラソンと「堤防の桜を惜しむ会」 ～ 13人が感謝と名残の中で

偉大なる大自然の再生、春爛漫の魁として、我が国の象徴とも言える桜花。

今年、60余年の歴史に幕を閉じる事になった磐井川堤防の山目側の「桜を惜しむ会」は、4月27日(日)、市民マラソン終了後、13名が参加し盛大な中、名残を惜しみました。例によって氷室会長は缶ビール、阿部金吾さんは漬物の差入れがあり、今回は更に小野寺富士子さんより丹精込めた手作りの大皿が並べられ、力強い「乾杯！」になった事は申す迄もありません。

さて、その花模様より未だ最盛期とも言えるこの並木が、今年7月より伐採されるとの事ですが、昭和20年代生まれの世代には格別なる思いが感じられます。昭和22、23年、600人余りの犠牲者を出したアイオン、カサリン台風で「一関壊滅」の新聞報道があった様に、この辺りはそれ迄“不夜城”として賑わいを見せていた「花川戸」が消滅し、やがて堤防が新設され桜の誕生の運びとなりました。嘗て、花見と言えば釣山公園であり、全山がピンク一色に染まったものでしたが、50年代以降は樹木の若返りの時代に入ると、堤防側が代替わりし今日に至っていたものでした。歴史は繰り返すが如く、旺盛なる釣山の復活が期待される処です。

菅原楯夫 記



5 月 例 走 会



鯉のぼりの下で体操



飛び入り参加のT氏

5月例走会は連休の4日、磐井川を渡る鯉のぼりの下で行いました。宮城県女川から一関の孫のところに来ているおじいちゃんの飛び入り参加もあり、一関楽走会を宣伝しました。箱根駅伝、堤防の桜を惜しむ会の話題で盛りあがりました。

参 加 者

小野寺卓司 関野吉美 菅原楯夫 菅原孝一 平澤和則
佐藤東 小嶋哲郎 須藤正男 菅原東 浅沼善治

6 月 例 走 会

日 時 6月1日(日)
午前6時より
会 場 磐井川河川敷

例走会当番

須藤正男さんをお願いします。都合つかない場合は指名お願いします。

年 会 費 納 入 者

佐藤 隆文 2,000円 菅原 立巳 2,000円 小野寺知夏 2,000円

市民マラソン記録・桜を惜しむ会参加者・会計報告

名 前	種目・順位	タイム	懇親会
小野寺知夏	5K 1位	23:34	
長澤茂	16位	26:50	
菅原楯夫	22位	30:20	○
須藤正男	10K・7位	41:57	○
熊谷義郎	10位	43:48	
平澤和則	22位	48:37	○
佐藤隆文	23位	48:43	
金田真太郎	28位	50:47	○
浅沼善治	35位	55:21	○
菅原立巳	スタッフ		
千葉正三	〃		
阿部金吾			○
田道郁子			○
葛西五郎			○
氷室一彦			○
畠山真佐美			○
千葉丈夫			○
菅原東			○
小野寺富士子			○

収入 1,000円×13人=13,000円
支出 食品等 10,260円
収支 13,000円-10,250円
=2,740円(一般会計へ)

2014記念 箱根駅伝会計報告

収 入
会費 25,000円×6人=150,000円
17,000円×2人= 34,000円

支 出
駅伝経費(宿泊含み)
15,000円×8人=120,000円
ご祝儀・お土産 7,508円
初日宿泊お礼 10,000円
駐車場代 500円
燃料代 20,940円
高速料金 24,240円
車両代・運転手お礼 20,000円

支出計 203,188円
収 支 184,000円-203,188円
=△19,188円(一般会計より)

4 月 月 間 M V P

順位	氏 名	月間走行	累計走行	累計順位
1	竹原康江	500	1974	1
2	菅原孝一	424	1628	2
3	小野寺知夏	310	1270	3
4	大越昭夫	301	1085	5
5	須藤正男	298	1155	4
6	松本守仁	205	675	11
7	浅沼善治	191	744	6
8	佐藤文政	184	686	10
9	関野吉美	173	538	12
10	小野寺卓司	150	713	9
11	菅原楯夫	136	446	13
12	平澤和則	110	327	15
13	氷室一彦	108	432	14
14	畠山真佐美	81	716	8
15	小嶋哲郎	37	184	16
16	千葉健一	20	116	17
17	庄子裕之		735	7
18	金田真太郎		109	18